

令和7年度 女子バスケットボール部の指導方針等と実績について

## 1 指導体制

顧問氏名		外部指導員氏名	資格等や経験
主顧問	平野 尚輝	矢嶋 千絵	
副顧問	井田 尚乃		
副顧問	笠島 喜与都		
副顧問	野津 亜純		

## 2 年間目標

(1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像	自ら考え課題解決が図れる力を育む。文武両道を目指し、学校生活の模範となれるよう努力する。何事も諦めず努力し続けられる強い精神力を育む。
(2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標	公式戦で3回戦進出。東京都ベスト64を目指す。
(3) 地域貢献等の特色ある目標	学校説明会などで地域の中学生に田園調布高校の特色を紹介する。応援される人を目指すとともに、田高生としての自覚を持ち、常に責任ある立ち振る舞いをすることを目標とする。

## 3 指導方針

(1) 技術や技能, 体力の向上	週3～4回の練習を通して、技能・体力の向上を図る。体育館練習のみならず、トレーニングを行い、基礎体力の向上も目指す。
(2) 公式戦や発表会への積極的な参加	高体連主催の公式戦やその他地域バスケットボール協会主催の大会に参加し、実戦経験を積む。
(3) 他校との合同練習、練習試合、校外活動の設定	実践力向上を図るために練習試合や合同練習の機会を設定する。また、中学校体験を行い、学校PR活動にも積極的に行う。
(4) 部加入率の維持、増加	ここ数年、経験者であっても入部しない傾向が多くみられる。2名ほどの新入部員という状態が続いている。一緒に活動したいなと思ってもらえるよう現部員の雰囲気作りが大事だと感じている。

## 4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導	科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料を活用して、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
-----------------	---

(2)生徒間の暴力禁止	暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
(3)外部指導員の活用	技指導に長けた外部指導員を活用して、ケガしない体づくりを目指す。顧問・指導員で共通理解を図り指導を行う。
(4)事故防止・安全配慮	熱中症に警戒する。用具や活動場所の安全性を確認する。

## 5 主な年間計画

	月	内 容
1 学 期	4	春季大会
	5	関東予選・インターハイ予選
	6	
	7	U18東京リーグ
	8	夏季大会、U18東京リーグ
2 学 期	9	U18東京リーグ
	10	U18東京リーグ
	11	新人大会
	12	
3 学 期	1	町田市総合大会
	2	
	3	

## 6 活動日・活動場所

曜日	月	火	水	木	金	土	日
活動場所		体育館	体育館	外・トレ室	体育館	体育館	

## 7 公式戦・大会等の実績

高体連主催公式戦出場 町田市総合大会出場
-------------------------